

# 兵 医 広 報

2023  
SUMMER  
vol.262

建学の精神  
社会の福祉への奉仕  
人間への深い愛  
人間への幅の広い科学的理解

西宮キャンパス

兵庫医科大学(医学部)  
兵庫医科大学病院  
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号  
☎0798-45-6111(代)  
https://www.hyo-med.ac.jp/(大学)  
https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/(病院)

神戸キャンパス

兵庫医科大学 (薬学部・看護学部・リハビリテーション学部)  
〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番地6  
☎078-304-3000(代)  
https://www.hyo-med.ac.jp/

篠山キャンパス

兵庫医科大学  
ささやま医療センター  
〒669-2321 兵庫県丹波篠山市黒岡5番地  
☎079-552-1181(代)  
https://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/  
兵庫医科大学  
ささやま老人保健施設  
兵庫医科大学  
ささやま居宅サービスセンター  
〒669-2321 兵庫県丹波篠山市黒岡36番地  
☎079-552-6840(代)  
https://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/

梅田キャンパス

兵庫医科大学  
梅田健康医学クリニック  
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-13-1 大阪梅田ツインタワーズ・サウス13F  
☎0120-682-701(代)  
https://umeda-kenshin-clinic.jp/

< 広報誌の送付先変更や配送停止に関するお問合せ >

【兵庫医科大学 医学部 卒業生(緑樹会会員)の方】  
兵庫医科大学 医学部 同窓会緑樹会  
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号  
兵庫医科大学 西宮キャンパス 教育研究棟 3階  
☎0798-45-6448 (平日13:00~17:00)  
✉ryokuju@hyo-med.ac.jp

【兵庫医療大学 卒業生(海泉会会員)の方】  
兵庫医科大学 キャリアデザインセンター  
〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番地6  
兵庫医科大学 神戸キャンパス M棟 1階  
☎078-304-3100 (平日8:30~17:00)  
✉careerdesign@hyo-med.ac.jp

【その他の方】  
学校法人 兵庫医科大学 総務部 広報課  
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号  
☎0798-45-6655  
✉kouchou@hyo-med.ac.jp

【兵庫医科大学 医学部 保護者の方】  
兵庫医科大学 大学事務部 西宮教学課  
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号  
兵庫医科大学 西宮キャンパス 教育研究棟 2階  
☎0798-45-6159 (平日8:30~16:45)  
✉kyo-gaku@hyo-med.ac.jp

【兵庫医科大学 薬学部・看護学部・リハビリテーション学部 保護者の方】  
兵庫医科大学 大学事務部 学生支援課  
〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番地6  
兵庫医科大学 神戸キャンパス P棟 1階  
☎078-304-3007 (平日8:30~17:00)  
✉gakuseishien@ml.hyo-med.ac.jp

学校法人 兵庫医科大学 広報誌  
兵医広報 vol.262 (2023 SUMMER)  
発行日/2023年8月18日  
発行元/学校法人兵庫医科大学 総務部 広報課









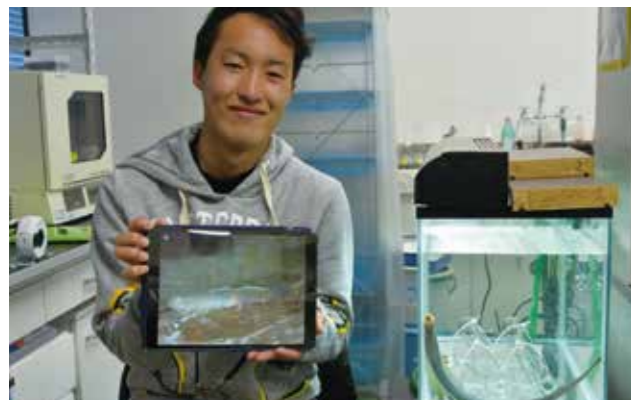






## 医学部卒業生による新種の魚類「ブナガヤボウズハゼ」の新しい生息地に関する発見が学術誌に掲載

今年3月に医学部を卒業し、現在は臨床研修医として活躍されている清水晃太郎さんが投稿した報文が2023年5月23日、琉球大学が発行する学術誌『Fauna Ryukyuan』に掲載されました。2021年に台湾や沖縄本島で発見された新種である「ブナガヤボウズハゼ」を初めて石垣島で発見し、新たな生息地として認められたこととなります。



医学部卒業生 清水晃太郎さん



## 本学薬学部生が日本薬学会第143年会学生優秀発表賞(ポスター発表の部)を受賞

2023年3月に北海道大学で開催された「日本薬学会 第143年会」で薬学部6年生の青木理奈さんが『学生優秀発表賞(ポスター発表の部)』を受賞しました。「表面を疎水化処理したメソポーラスシリカ被覆酸化チタンの揮発性有機化合物に対する吸着特性」に関する発表について、熱意に溢れ分かりやすく且つ学術上注目すべき内容を有しており、将来の発展が期待されることが認められました。



薬学部6年生 青木理奈さん



## 「日本消化器病学会総会」でJournal of Gastroenterology High Citation Awardを受賞

2023年4月6～8日に長崎で開催された「第109回日本消化器病学会総会」で、医学部 消化器内科学(肝・胆・膵内科)准教授 榎本平之がJournal of Gastroenterology High Citation Awardを受賞しました。肝硬変の全国調査の結果、非ウイルス性肝硬変が増加している実態を明らかにした2020年3月「Journal of Gastroenterology」誌の掲載論文が同誌のImpact Factor値向上に貢献したとして表彰されたものです。



## 「大腸がん肝転移に対する手術後の患者さんにおける無再発生存期間と術前全生存期間との相関」を明らかに

兵庫医科大学 消化器外科学 准教授 池田正孝らの研究グループは、大腸がんに対する根治手術を受けた患者のうち、がんが肝臓の外に転移していない患者の再発と生存の情報を全国規模の大腸癌肝転移データベースを用いて抽出し、無再発生存期間(RFS)と全生存期間(OS)の相関を算出した結果、RFSとOSの間に中程度の相関があることを明らかにしました。本研究成果は2023年5月17日に「British Journal of Surgery」に掲載されました。



## テデュグルチドは「クローン病合併短腸症候群において早期の有効性を示す可能性があること」を明らかに

消化器内科学 准教授 新崎信一郎らの研究グループは、2020年から21年にかけて、テデュグルチドが投与されたクローン病合併短腸症候群を対象とした後ろ向きコホート研究を行った結果、クローン病短腸症候群に対するテデュグルチドの短期間における有効性を示す可能性を明らかにしました。この研究成果は「Clinical Nutrition」誌に掲載されました。



## 第31回手術手技研究会で「指定研究賞」を受賞

胃癌手術の重大な合併症である膵液漏。その原因の一つである「膵臓の誤認」を防ぐため、AIによる画像認識技術を用いて正確に膵臓へ着色表示をし、膵液漏を減少させることを目指す研究に取り組んだことが評価され、2023年5月13日、消化器外科学(上部消化管外科)助教 中村達郎が第31回手術手技研究会で「指定研究賞」を受賞しました。



## 「第31回日本医学会総会」で日本医学会総会奨励賞を受賞

医学部 病理学(分子病理部門)准教授 大島健司は、大腸がんにおいてSerine racemaseという代謝酵素が、L-セリンからピルピド産物を産生し、がん細胞の増殖を促進することを明らかにし、またこの代謝酵素が治療標的となり得ることも示しました。これにより2023年4月23日、日本医学会から「第31回日本医学会総会奨励賞」が贈られました。



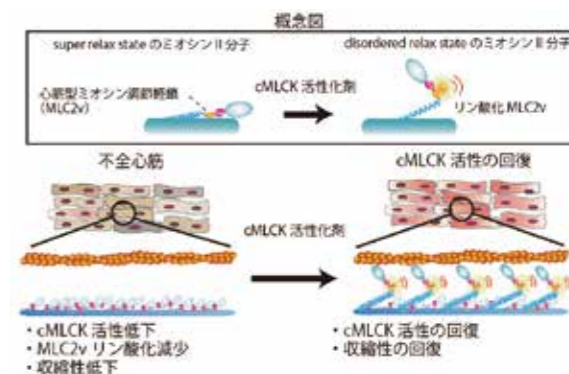
## アジアで初めて大規模な疫学調査を実施「親の唾液接触」と「アレルギー疾患との発症リスク」の関連性を明らかに

皮膚科学 准教授 金澤伸雄と和歌山県立医科大学、獨協医科大学、高槻赤十字病院の共同研究グループは、日本人の学齢期の子供とその親を対象にアジアで初めてとなる大規模調査を行い、乳児期の食器共有や、親の唾液によるおしゃぶりの洗浄を介した唾液接触と、アレルギー性鼻炎、食物アレルギー、喘息などのアレルギー疾患の発症リスク低下は関連性があることを明らかにしました。この成果は2023年4月10日に「Journal of Allergy and Clinical Immunology: Global」へ掲載されました。



## 心筋細胞に現れるキナーゼを活性化する「新しい心不全治療薬」を開発

生化学 准教授 塚本蔵らの研究グループは、心筋細胞に特異的に発現するミオシン調節軽鎖キナーゼ(cMLCK)の活性低下により、ヒトの拡張型心筋症が発症するメカニズムを解明しました。また、大阪大学大学院医学系研究科医科学講座、大阪大学大学院薬学研究科附属創薬センターとの共同研究により、cMLCKを特異的に活性化させる低分子化合物を開発し、これを心筋細胞に投与することで心筋の収縮性が回復することを明らかにしました。本研究成果は2023年5月2日に米国科学誌「Circulation」電子版に掲載されました。



## 当院医師と臨床検査技師が国際NGO活動としてトルコ・シリア地震緊急支援に派遣

2023年2月6日に発生したM7.8のトルコ・シリア地震被災者へ医療支援を提供するため、救命救急センター 山田太平医師と、臨床検査技術部 湊宏美臨床検査技師が「特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン」および「空飛ぶ捜索医療団ARROWS」の登録派遣隊員としてトルコへ派遣されました。「一秒でも早く、一人でも多く」の命を救うことを使命として活動し、傷病者・被災者や被災地域の医療従事者から大変感謝されました。





## 石川県能登地方を中心とした地震による被災者支援のため当院薬剤師と臨床検査技師が派遣

2023年5月5日に発生した石川県能登地方を中心としたM6.3の地震の被災者を支援するため、5月13～19日にかけて「特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン」と「空飛ぶ捜索医療団ARROWS」の登録派遣隊員として薬剤部 渡邊暁洋薬剤師と臨床検査技術部 湊宏美臨床検査技師が石川県珠洲市に派遣され、珠洲生活サポート部会の運営サポートや高齢者宅への戸別訪問、避難所巡回等を実施しました。



## 丸山前看護部長が兵庫県看護協会会長に就任

2023年3月まで6年間兵庫医科大学病院 看護部長を務めた丸山美津子氏が、2023年6月に開催された兵庫県看護協会総会・理事会で承認され、公益社団法人兵庫県看護協会会長に就任いたしました。丸山会長は兵庫県看護協会が令和2年度から掲げる「時空を超えて創造する、つなぐ・つながる看護」という将来ビジョンの実現に向けて、関係機関などと協働を進めていきたいと抱負を述べました。



## 女子ホッケー「第8回 AHF ジュニア アジアカップ」U21 女子ジュニア日本代表に本学教員がフィジオとして帯同

リハビリテーション学部の川口浩太郎教授が2023年6月2日から岐阜県各務原市で開催された「第8回 AHF ジュニア アジアカップ」に、ホッケーU21女子ジュニア日本代表のフィジオ(トレーナー)として帯同しました。女子ジュニア日本代表は2023年11月末からチリで開催される女子ホッケージュニアワールドカップへの出場権を獲得しました。川口教授は大会期間中、選手のコンディショニング、テーピング等を担当し、チームの勝利に貢献しました。



ホッケーU21女子ジュニア代表(後列左から5番目 川口教授)  
写真提供: 佐藤 茂樹 氏



## 2023年度 地震・津波防災訓練を実施

2023年7月7日、神戸キャンパス3学部の1年生約360名を対象に、地震・津波防災訓練を実施しました。神戸市水上消防署の職員から危機管理講習を受講後、大型の海溝型地震発生から津波警報が発令されることを想定して実際の避難場所や避難経路の確認を行い、新入生たちの地震・津波に対する防災意識を高めました。訓練後は安否確認メールの送信と安否情報の登録を試験的に行いました。



## 医療科学研究科の名称変更のお知らせ

医療科学研究科は、疾病の予防や治療及び対象者の社会参加に至るまでのシームレスなリハビリテーション介入を研究対象としています。ステークホルダーに明確に研究領域がわかるように、2024年4月1日より、下記の通り研究科名および専攻名を変更いたします。

現在の名称 (2024年3月31日まで)	変更後の名称 (2024年4月1日以降)
医療科学研究科 (Graduate School of Health Science)	リハビリテーション科学研究科 (Graduate School of Rehabilitation Science)
医療科学専攻 (Course of Health Science)	リハビリテーション科学専攻 (Course of Rehabilitation Science)



## 薬学部で予防接種(筋肉内注射)を体験する実習を実施

2023年6月26日、薬学部4年次科目「新・実務実習事前学習II」の授業において、シミュレータを用いて予防接種(筋肉内注射)の体験実習を実施しました。コロナ禍においてワクチンの「打ち手」確保が課題となったことから、将来薬剤師がワクチン接種を担うことを想定し、正課の授業に組み込んだものです。参加した学生からは「このような授業は必要だと思いました」など前向きな意見がありました。







## 「ダイバーシティプロジェクト 教員制度」の採択式を 実施

2023年7月1日、今年度より新たに制定された「ダイバーシティプロジェクト教員制度」(詳細はp.2を参照)の採択者が決定し、その採択式が開催されました。准教授コースでは李智子(小児科学)の1名、講師コースでは木原多佳子(病理学 病理診断部門)、角谷美樹(糖尿病内分泌・免疫内科学)、孫安生(病原微生物学)の3名が採択されています。



## 公開講座 「薬の使い方ー基礎編ー」

2023年6月24日、兵庫医科大学神戸キャンパスで地域住民向け公開講座が開催されました。参加者から「応用編もぜひお願いします。」「薬の飲み方や順序などがなぜ決められているのか理由を知ることができ納得できました。」「目からうろこの話がいっぱいあり、今後役立てたい。」など大好評でした。



## 2023年度 幹部教員FDを開催

2023年6月17日から18日の2日間、大阪市住之江区のホテルクラシア大阪ベイにて2023年度幹部教員FDを開催し、各学部から22名の教員が参加しました。2014年度より年1回開催しているFDで、講師以上の役職にある教員を対象とし、法人の現状や経営方針などの知識を学ぶとともに、グループワークを通じて課題の共通認識を持つ機会となりました。



## 第4次中期事業計画 教職員向け説明会を開催

2023年4月より、2023~2027年度の5年間を対象とした第4次中期事業計画がはじまりました。本法人の教職員が現状を理解し、目指すべき姿を共有することを目的として2023年4月21日から25日にかけて神戸、西宮、篠山の3キャンパスで教職員向け説明会を実施しました。法人の4つの軸である「教育」「研究」「診療」「社会貢献」の各領域を担当する理事が説明を行いました。



## 病院の運営方針説明会を実施

2023年5月30日、2022年度の病院運営状況の振り返りや新型コロナウイルス感染症対応の総括、新病院建設の概要説明、2023年度の病院運営方針などについての説明会を実施し、阪上病院長から詳細な説明がありました。また併せて病院運営に大きく貢献した部門や病院職員を表彰するインセンティブ表彰を実施いたしました。

